



# 固定IPアドレスサービスによる セキュリティ強化、コスト削減の提案

朝日ネット 営業部兼マーケティング部 部長  
 村田真之助氏

朝日ネット

朝日ネットは、1990年設立のISP(インターネット・サービス・プロバイダ)である。ASAHIネットのブランドでISP事業を展開している。そのサービス内容の高さは、日経ビジネス「2008年アフターサービス満足度ランキング」のインターネット・サービス・プロバイダ部門で第1位を獲得したことで明らかである。

同社は、日本の主要電気通信事業会社との取引を幅広く継続して、現在約45万人擁する会員のそれぞれのニーズにきめ細かく対応している。そして、これまでの事業展開とは別のBtoB市場への参入を積極的に展開している。

その一つが、固定IPアドレスサービスの提供である。IP監視では、カメラ1台ごとに固定IPアドレスを設定することで、監視映像の機密性を維持することができる。しかし、カメラ台数が数百台から数千台となる大規模案件では、固定IPアドレスの初期費用および運営費用が決して軽視することができない。これが障壁となり最善の映像システム構築を実現する虞もあることから、ASAHIネットはこれまでの業界水準を大きく変える価格体系を提供して、IP映像の実現に大きな支援を提供している。セキュリティ産業界での固定IPアドレスの需要の増加は必定であることから、同社のサービスは大きな朗報である。

**老**舗ISPとして知られる同社が今回のGDSFに参加した理由について、村田氏は、「お客様を中心に、各事業者が有意義に連携してソリューションを提供できる」と会場に訴えかけた。厳しい経済状況が続く中で、企業のセキュリティ分野に対する投資意欲は依然として活発であり、同社もそこに市場機会が存在すると考えている。

## 固定IPアドレスの価格を大幅にダウン

同社が今回提案したソリューションとは、大幅に価格をダウンした固定IPアドレスサービスだ。IPアドレス1つあたり年間最大10万円ものコストダウンになり、これは業界最安水準の価格という。しかも同社の固定IPアドレスサービスは、あるメディアの顧客サービス満足度調査で1位を獲得しており、サポート面に関しても安心して利用できる。

同氏は、具体的な導入事例として、大規模な複合型レジャー施設における例を紹介した。同施設では以前より固定IPアドレスサービスを利用していたが、朝日ネットのサービスに切り替えたことで、年間1千万円の削減に成功した。

## 固定IPアドレスのメリット

固定IPアドレスのセキュリティ上の利点として、村田氏は「IPアドレスを特定することで通信を制御できる」と説明した。複数拠点の監視カメラを一元管理するためにはセキュアな通信が不可欠であり、それを実現できる手段の一つが固定IPアドレスと紹介した。

## 連合体結成の提案

講演の最後に、村田氏は会場に詰めかけたセキュリティ企業やシステム構築企業に対して、同社を中心とする連合体の結成を呼びかけた。この連合体により、セキュリティレベルを維持しながらコスト削減が可能になり、新たな商材提案の機会になると村田氏はその利点を強調して講演を締めくくった。

